

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点 (ICReDD)
令和 3 年度 MANABIYA (ACADEMIC) 研究者受入公募要領

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点 (ICReDD) では、国内外の大学や研究機関に所属する若手研究者等を対象として、「化学反応創成学」の習得及び普及を目的とする MANABIYA (ACADEMIC) を実施しております。

このたび、令和 3 年度における研究者の受け入れを行うこととなりましたので、以下の公募要領を十分ご確認の上、期日までに応募願います。

※MANABIYA (学び舎) システムについては別添資料をご参照ください。

1. 受入期間

令和 3 年 8 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの間で 2 週間から 3 か月までの期間。

2. 応募方法

2-1. 申請資格

国内並びに海外の大学、国公私立および独立行政法人の研究機関に所属する研究者、またはこれに準ずる者（博士後期課程に所属する大学院生程度）とします。国籍は問いません。

2-2. 受入予定数（令和 3 年度）

20 名程度

2-3. 実施場所

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点 (ICReDD)

住所：北海道札幌市北区北 21 条西 10 丁目 北海道大学創成科学研究棟内

※研究内容等によってはオンラインでの受け入れも可能な場合がありますので、本件担当宛てにお問い合わせください。

2-4. 希望受入教員

希望する受入教員については、以下 URL の ICReDD のホームページを参照願います。

URL : <https://www.icredd.hokudai.ac.jp/ja/manabiya/manabiya-topics>

2-5. 申請書の提出期限および提出先

応募に当たっては、別紙 1 「MANABIYA (ACADEMIC) 申請書」に必要事項を記入し、令和 3 年 7 月 10 日（土）までに、本件担当宛てに電子メール添付書類（Word ファイル）として提出願います。

3. 選考と採択通知

応募にかかる採否は、ICReDD 運営委員会の議を経て決定されます。採否の結果については、令和 3 年 7 月中旬以降に ICReDD 拠点長から申請者に通知します。

4. 旅費の支給等

4-1. 交通費及び滞在費の支給

ICReDD への受け入れが決定した研究者（以下「MANABIYA 研究者」という。）には、本学の旅費規則に基づき、総支給額 50 万円を上限として交通費及び滞在費を支給します。

ただし、本学所属の学生及び ICReDD への受入開始前後に本学に滞在する者については、旅費の支給対象外とします。

4-2. 宿泊施設

受入期間中の宿泊先については MANABIYA 研究者自身で手配いただくことになります。

MANABIYA 研究者が新規渡日かつ外国籍である場合は、本学の外国人研究者等宿泊施設を利用することも可能です。希望する方は事前に本件担当宛てにご相談ください。

なお、本学宿泊施設に空きがない場合および国内の大学および研究機関等から参加される MANABIYA 研究者は、民間の宿泊施設をご利用ください。

北海道大学外国人研究者等宿泊施設

URL : <https://www.oia.hokudai.ac.jp/cier/foreign-scholars-accommodation/>

5. 実施及び成果報告等

5-1. 必要経費等

MANABIYA 研究者が MANABIYA (ACADEMIC) で要する資料代、試薬・材料費、光熱水料及び ICRéDD が保有する計算機及び研究機器使用料は ICRéDD が負担します。これ以外の経費（食費、宿泊費等の生活費を含むその他すべての費用）は MANABIYA 研究者自身の負担となります。なお、MANABIYA 研究者は、自らの負担で受入期間に応じた傷害保険等の加入が必要です。

5-2. 秘密保持

MANABIYA 研究者は、MANABIYA (ACADEMIC) で習得した手法以外の研究情報の保持義務を遵守していただきます。そのため、受け入れ時に、秘密情報保持に関する「誓約書」にサインしていただきます。

5-3. 成果報告書の提出

受入期間の終了後、MANABIYA 研究者は、別紙2「MANABIYA (ACADEMIC) 成果報告書」を作成し、提出していただきます。その報告書は、まとめて ICRéDD の研究報告書等として公開される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

5-4. 成果報告書の提出期限および提出先

成果報告書の提出期限は、受入期間最終日の翌日から1か月以内とします。電子メール添付書類（Word ファイル）にて、本件担当宛てに提出願います。

5-5. MANABIYA (ACADEMIC) 証明書の交付

成果報告書が受理された MANABIYA 研究者には、習得の証として「MANABIYA (ACADEMIC) 証明書」を交付します。

5-6. 研究成果の公開

MANABIYA 研究者が習得した手法を使って行った研究の成果を学術論文などに公開する場合には、本件担当宛てに事前にご連絡願います。また、ICRéDD で習得した技術を用いたことを明記してください。英文での謝辞例を次に示します。

謝辞例 : In this study, “your name” used “the techniques” learned at the Institute for Chemical Reaction Design and Discovery (ICRéDD), Hokkaido University, which was established by World Premier International Research Initiative (WPI), MEXT, Japan.

※ “your name” と “the techniques” は適宜変更願います。

6. 本件担当（問い合わせ先）

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点事務室（担当：山本・田村）

E-mail: manabiya@icredd.hokudai.ac.jp, 電話：(011)706-9645

別紙 1

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点（ICReDD）
令和 3 年度 MANABIYA（ACADEMIC）申請書

提出日： 年 月 日

北海道大学化学反応創成研究拠点長 殿

令和 3 年度 MANABIYA（ACADEMIC）研究者受入公募要領に記載された内容を承諾の上で、以下の
とおり受け入れを申請します。

（1）申請者情報

申請者氏名			ふりがな		
生年月日	年 月 日 （ 歳）			性 別	男 ・ 女
所属機関	機関名				
	部署名				
	職名等				
	所在地	〒			
	電話番号				
	E-mail	@			
略 歴（最終学歴以降を記入して下さい。なお、スペースが不足する場合は適宜追加の上、記入して下さい。）					

（2）MANABIYA（ACADEMIC）に期待する成果等

申請者の主な研究分野					
実施希望期間	第 1 希望	年	月	日	～ 年 月 日
	第 2 希望	年	月	日	～ 年 月 日
	第 3 希望	年	月	日	～ 年 月 日
希望受入教員					
MANABIYA（ACADEMIC）で実施したい内容，目的および目指す成果					

別紙 2

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点 (ICReDD)
令和3年度 MANABIYA (ACADEMIC) 成果報告書

提出日： 年 月 日

北海道大学化学反応創成研究拠点長 殿

所属機関名：

所属部局名：

職 名：

氏 名：

令和3年度 MANABIYA（ACADEMIC）での実施内容等について、以下のとおり報告します。

受入教員	
受入実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日
MANABIYA（ACADEMIC）での実施内容および成果（参考となる資料を添付願います）	